

基本目標
Ⅶ

活力にあふれ人が集い 心ふれあうまち

多様な働き方の実現や市内経済を支える産業の振興、町会、ボランティアなどの団体に対する活動の促進などにより、「まちの活力」の創出を目指します。

また、地域資源を生かした観光の取組を通じて、賑わいの創出を目指すことや、国内外の地域住民の交流を促進することで、人が集まり、心ふれあうまちを目指します。



施策 29 多様な働き方への支援・充実

施策 30 産業振興の推進

施策 31 地域資源を活用した観光振興の推進

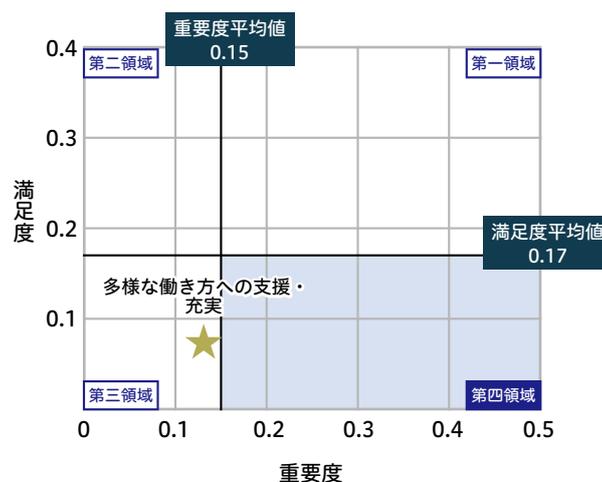
施策 32 市民活動の活性化と地域交流の促進

施策の目的

女性や若者、高齢者、障がい者、外国人などの労働者それぞれの事情に合わせた就労機会の創出、キャリア形成の実現を図るとともに、各支援機関と連携し、起業相談などの充実を図り、起業家の育成支援を強化していくことで、多様な働き方への支援をしていきます。

■ 現況と課題

- 平成 31 年（2019 年）4 月に働き方改革関連法*が施行され、時間外労働の上限規制や年次有給休暇の取得義務化、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保など、働きやすい環境づくりが進みつつあります。
- 新たな職種や業務に適応するためのスキルを獲得するリスキリング**など、多様な働き方に向けた動きが加速しています。
- 戸田市では、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口が増加し、また、女性や高齢者などの就業率が上昇しています。一方で、求職者と求人を行う事業所間に業種や就労環境のミスマッチが生じており、市内事業所の中には、慢性的な人手不足となっている業種があります。
- 市内で起業しやすい環境づくりや求職者に対する就労支援、市内事業所の事業承継などが課題となっています。
- 「障害者の雇用の促進等に関する法律」等の改正により、令和 6 年（2024 年）4 月から障がい者の法定雇用率が 2.3%から 2.5%に引き上げられ、令和 8 年（2026 年）7 月からは 2.7%となります。企業や学校、各種関係機関と連携し、障害特性やニーズの多様性にも配慮した雇用機会の創出が求められています。





取組の方針

(1) 多様な働き方への支援

総合戦略

- 戸田市ふるさとハローワーク*と連携し、職業相談や各種セミナーの開催、人手不足の業種と求職者とのマッチングなどを進め、それぞれの事情やニーズに合わせた就労機会の創出を図ります。
- 女性や若者、高齢者、障がい者、外国人などを所管する関連部署間の連携により、多様な働き方を支援します。

(2) 各支援機関との連携による多様で切れ目ない起業支援

総合戦略

- 戸田市商工会起業支援センター*を拠点に、セミナーや起業相談の充実を図るなど、起業家に寄り添った切れ目のない支援を継続的に展開します。

施策指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
市内事業所の従業者数	市内の事業所における従業者数	68,173 人	70,000 人	【経済センサス】 年 0.5%の増加率を推計
戸田市ふるさとハローワークの就職決定者数	戸田市ふるさとハローワークの就職決定者数	285 人	292 人	年 0.5%の増加率を推計
創業者数	市・商工会・埼玉県産業振興公社による支援を利用した年間創業者数	38 人	40 人	戸田市創業支援等事業計画に基づく、市・商工会・埼玉県産業振興公社による 2030 年目標を目標値に設定

関連計画

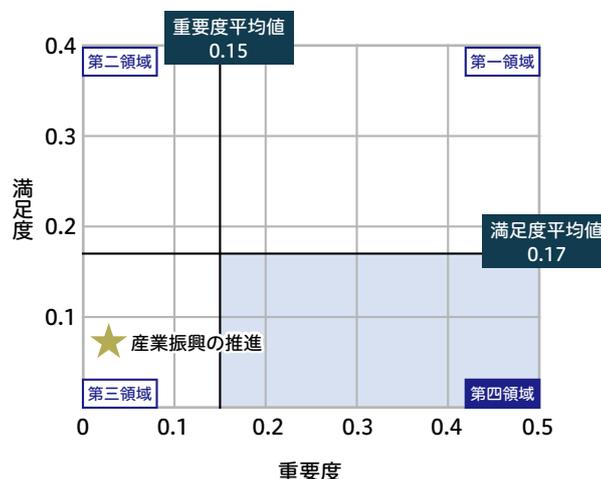
- 第2次戸田市経済戦略プラン
- 戸田市創業支援等事業計画
- 戸田市障がい者総合計画
- 戸田市こども計画
- 戸田市地域包括ケア計画（第9期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）

施策の目的

戸田市を支える市内事業者の経営基盤の安定を図るとともに、競争力を高めるための新しい技術や商品の開発、立地や設備投資、人の集まる店舗づくりなどを支援していくことで、地域に根差した産業の振興を推進します。

■ 現況と課題

- コロナ禍を契機としたデジタル化の進展など、ビジネスモデルの大きな変化が見られるとともに、国際的な原材料価格の上昇に加え、円安による輸入コストの増加、人手不足や人件費の高騰など、市内事業者にとって難しい経営環境にあります。
- ふるさと納税制度を利用した国全体の寄付総額は、令和5年度（2023年度）に1兆円を超えており、魅力的な地域産品の開発やサービス提供など、自治体間の競争が激化しています。
- 持続可能な社会の実現に向けて、SDGsの推進や脱炭素の取組など、利益の追及だけでなく企業としての社会的責任が求められています。
- 戸田市では、大規模事業所の市外への移転が見られるものの、市内事業所数は維持しており、商工会会員数も増加に転じています。
- 交通の利便性などから発展してきた印刷業や運輸業、食料品製造業などは減少傾向にある一方、地域に身近な小売業や医療・福祉関係の業種が増加し、産業形態に変化が出てきています。
- 市内には特徴ある技術を持ち、魅力的な商品を製造・販売している事業所が多く、今後事業が拡大する可能性を秘めています。
- 多様化する消費者ニーズや社会的課題に対応するため、戸田市商工会と連携したプロモーションの強化やにぎわいづくりなども求められています。





取組の方針

(1) 企業の経営基盤強化に向けた支援 総合戦略

- 社会情勢や事業者ニーズに応じた補助金制度などの市内事業者への支援をはじめ、戸田市商工会と連携した経営改善に向けた各種講習会やビジネス交流会などを継続的に開催することで、市内事業者の経営基盤の強化に努めます。

(2) 地域産業の魅力発信とにぎわい創出 総合戦略

- 市内事業者の特徴ある技術や魅力的な商品を PR するとともに、商店会や市内商店などの魅力づくりを支援します。
- ふるさと納税制度を活用し、市内事業者の地場産品等を返礼品として市外に PR することにより、市内産業の活性化や販路拡大を推進します。

施策指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
事業所数	市内で経済活動が行われている事業所の数	5,260 事業所	5,270 事業所	【経済センサス】 現状以上の事業所数を確保し、前回以上の増加(10 事業所(0.2%))を推計
商工会会員数	戸田市商工会の会員数	2,765 事業所	2,775 事業所	増加事業所が全て会員になることを目指し、目標値を推計
市内総生産(名目)	埼玉県市町村民経済計算結果における市内総生産(名目)	550,728 百万円	608,048 百万円	年2%の増加率を推計

関連計画

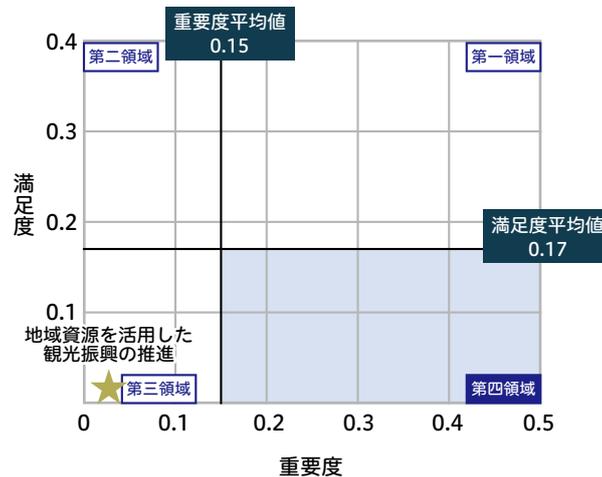
- 第2次戸田市経済戦略プラン

施策の目的

戸田橋花火大会、戸田ボートコース、彩湖・道満グリーンパークなどの地域資源を観光振興の観点から活用を図ることにより、戸田市への愛着を育み、市内外の誰もが観光を楽しめる環境を整備します。

■ 現況と課題

- 令和5年（2023年）3月に閣議決定された「観光立国推進基本計画」では、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の3つをキーワードに、持続可能な観光地域づくり、インバウンド*回復、国内交流拡大の3つの戦略に取り組むこととしています。
- 戸田市は都心から近く、広域的な交通利便性が高いという特性があります。また、戸田橋花火大会や彩湖・道満グリーンパーク、戸田ボートコースなどの地域資源があり、市外から多くの方が訪れています。
- 彩湖・道満グリーンパークの魅力向上を図るため、関係機関と連携し、新たなコンテンツの提供機会を創出する必要があります。
- 戸田市は、転出入が多く、地域への愛着が育まれにくいという背景があります。市民に地域の魅力を知ってもらい、「住み続けたいまち」として愛着を醸成していくことが重要となっています。





取組の方針

(1) 観光資源の創出・充実 総合戦略

- 戸田橋花火大会や彩湖・道満グリーンパーク、戸田ボートコースなど、戸田市ならではの地域資源を有効に活用し、更なる魅力向上を図るとともに、地域の観光資源の掘り起こしや拠点の充実に取り組みます。
- 彩湖・道満グリーンパークについては、関係機関と連携し、彩湖の湖面や湖畔を生かした新しい事業の実施に取り組みます。

(2) 地域の魅力を知る機会の提供 総合戦略

- 戸田市の自然や歴史・文化、産業、暮らしなどの魅力を市内外に発信し、地域の魅力を知る機会を広く提供します。
- 観光スポットや魅力的な店舗、イベント等の観光情報に加え、ふるさと納税返礼品などの地場産品を地域の魅力として PR することで、戸田市への愛着の醸成につなげていきます。

施策指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
戸田市に愛着を感じている割合	戸田市に住み続けたいと感じている市民の割合	78.8%	80.5%	【市民意識調査】令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの増加率の平均値(年0.34ポイント)を加算
観光入込客数	市内外からの観光を目的とした年間来訪者数	1,259,173人	1,382,871人以上	前期計画期間で達成した最大値(令和5年)以上の入込客数を目指し、目標値を設定

関連計画

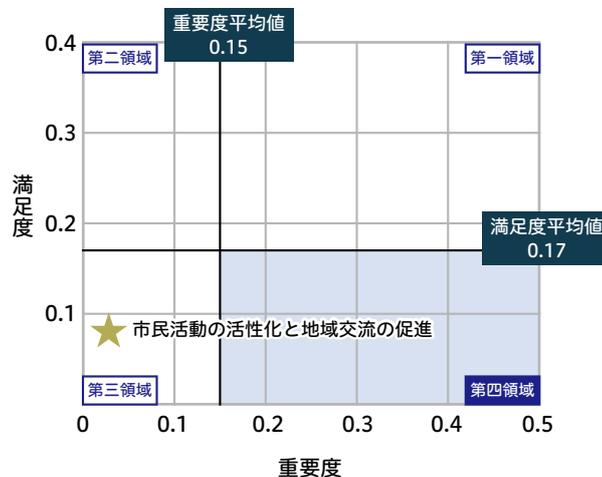
- 第2次戸田市経済戦略プラン

施策の目的

町会・自治会活動や市内における市民活動が活性化し、様々な人が地域活動に参加することで、地域課題の解決に取り組めるように、地域コミュニティを支援する体制の充実を図ります。また、戸田市への愛着が醸成されるよう、戸田ふるさと祭りの開催や国内外の都市との交流を促進します。

■ 現況と課題

- 全国的に都市部では、核家族世帯や単身世帯の増加、マンションの増加などを主な要因として、町会加入率の低下、後継者の不足や担い手の高齢化などの課題が挙げられています。
- 国は、持続可能な町会・自治会活動の維持に向けた手法の一つとして、町会・自治会活動のDX^{*}を挙げています。戸田市も、町会・自治会の負担軽減や現役世代を含む多くの市民の町会・自治会加入促進策として、DXを推進しています。
- 地域課題の解決に取り組む市民活動団体等が増えてきている一方で、活動資金不足や会員の減少などの理由により活動を休止せざるを得なくなるケースもあることから、市民活動団体等が自立し安定的に活動を継続していくことができるよう支援の充実が求められています。
- 単身世帯や外国人市民の転入等により、町会・自治会加入率の低下が懸念される中でも、持続可能な地域コミュニティが形成できるように、それぞれの町会・自治会の抱える様々な問題の解決に向けた支援を強化していく必要があります。
- 近年、外国人市民が増加しており、戸田市国際交流協会をはじめ、町会・自治会などの地域コミュニティと協働しながら、日本の文化・伝統や地域内のルール、情報を分かりやすく伝え、日本人市民と外国人市民が互いの文化を理解し、交流していくことができる、住みよい環境の整備が求められています。





取組の方針

(1) 持続可能な地域コミュニティの形成・活性化

総合戦略

- 町会・自治会未加入世帯への加入啓発活動を継続していくとともに、行政からの依頼事項の見直しを図り、町会・自治会の負担軽減に取り組むことで、担い手不足の解消に努めます。
- 持続可能な地域コミュニティ活動ができるように町会・自治会それぞれが抱える問題の解決に向けた支援を強化します。
- 町会・自治会の負担軽減や地域コミュニティの活性化に向けて、デジタル環境整備やデジタル活用支援など、町会・自治会活動のDXを推進します。

(2) 市民活動の支援推進

総合戦略

- 市民活動団体等が自立して安定的な活動が継続できるよう、補助制度の適宜見直しにより、支援の充実に取り組みます。
- 町会会館等のWi-Fi環境を活用した地域イベントの開催など、市民活動団体等が町会・自治会と連携した活動が行えるよう支援を行います。

(3) 国際理解・国内交流の促進

総合戦略

- 友好・姉妹都市^{*}との綿密な連絡調整を図り、教育効果が高く評価されている青少年の交流事業を中心に国際交流の取組を展開します。
- 戸田市国際交流協会を中心に市民活動団体や関連機関などと連携し、市民が主体となって実施する国際交流の機会を増やすことで、相互理解や共通認識の醸成を促進します。
- 外国人市民とのコミュニケーションを円滑に進めるための支援や相談体制の充実を引き続き進め、地域交流の促進を図ります。

施策指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
町会・自治会の加入世帯割合	主要な地域コミュニティである「町会・自治会の加入世帯割合」を設定した	48.8%	45.0%以上	加入世帯の減少を抑制することを目指し、直近5年間の減少率を下回らないよう目標値を設定
ボランティア・市民活動支援センター登録団体数	ボランティア・市民活動支援センターに登録された活動団体数	198	198以上	当初値：令和7年3月末時点の登録団体数 当初値以上を目指す
多文化共生推進事業の参加者数	戸田市国際交流協会事業参加人数及び外国人相談窓口利用者数を設定した	2,364人	2,600人	令和12年度(2030年度)の時点で10%増加を目指し、目標値を設定

関連計画

- 第2次戸田市多文化共生推進計画
- 戸田市市民活動推進基本方針